

【事務所】

船橋市前原西8-24-8
 ☎490-3333 FAX 465-7117
 Eメール hiroei@muc.
 biglobe.ne.jp
 ホームページ http://www.
 hiroei.jp



「活きていることわざ」

船橋市議会議員（無所属・3期）

神田 廣栄（かんだひろえい）市議会報告

御託（ごたく）を並べる。一石二鳥

【御託を並べる】◇あれこれと自分勝手なことや文句を言い散らかすこと。

・「御託」は「御託宣」の略で、神のお告げ。転じて偉そうなことを言うこと。

【一石二鳥】◇一度の行動で、同時に二つ以上の利益を得ること。

・英語のことわざ To kill two birds with one stone. (一つの石を投げて二羽の鳥を落とす)の翻訳。

春の足音とともに平成27年の第1回定例会が開会されました。別名3月議会というこの議会は、船橋市の平成27年度予算を審議する年に4回ある議会で最も重要な議会です。

まず松戸市長から「市政執行方針」が述べられ、一般会計予算など49の議案が提出されました。2月27日から6日間の議案質疑が行われ、3月10日から5日間で5つある委員会それぞれ審議します（1委員会が1日の審議です）。さらに3月18日から4日間、13人で構成する予算委員会が開催され、最終日の3月26日に全ての議案の採決を行います。

この度の一般会計の当初予算は、2011億1000万円と過去最大となりました。国民健康保険などの特別会計が1437億8700万円、病院会計などの企業会計が181億4800万円、合計で3630億4500万円という大型予算となりました。その詳細は議会の審議・採決を経てから公表されることとなります。

さて今号は、**たった一人の声**に替える行政・教育委員会側の話を書きます。

【愛知県一宮市の市立中学の男性校長（56）が、学校のホームページ上のブログに、神話に基づく日本建国の由来などに触れながら、自国に誇りを持つよう訴える記事を掲載したところ、市教育委員会から「神話を史実のように断片的に書いている」との注意を受け、記事を削除したことが21日、分かった】（新聞記事原文のまま）

そのブログの要旨は、

【2月11日は**建国記念日**です。日本の建国は今から2675年前の紀元前660年、初代、神武天皇が即位した日です。その後、16代仁徳天皇がある日、高台から見渡すと、人々の家から食事の準備をするための煙りが見えなかった。天皇は民が貧しくて煮炊きするものがないのではないかと心配し3年間税金を免除した。3年経った後、高台から見ると、今度は煙りが立っていた。天皇は「私は豊かになった。喜ばしいことだ」と言われたが、側にいた皇后は「あなたの衣服に穴があき、宮殿の屋根が破れているのに、どうして豊かなのだ」と聞いた。天皇は「国とは民が根本である。その民が豊かだから私も豊かなのだ」と言われ、さらに3年間税金をとらなかつた。6年してから税金を課し宮殿の修理を命じました。すると、人々は命令もされていないのに、進んで宮殿の修理をしてくれたそうです。

この話は神話であり、作り話だという説もあります。しかし、こうした神話こそが、その国の国柄を示しているとも言えるのです】

ということを書いた後、**昭和天皇**の人柄にも触れています。



【天皇と国民の関係は、仁徳天皇に限ったことではなく、敗戦直後の1945年に124代昭和天皇はマッカーサー元帥と会見し「今回の戦争の責任は私にあるので私を罰して欲しい。ただし、このままでは罪のない国民に多数の餓死者の出る恐れがある。是非食糧援助をお願いしたい」と皇室財産の有価証券類を持参し「これを費用の一部に充てて欲しい」と述べた。マッカーサー元帥は、この言葉を聞いて、心を動かされ陛下の手を握ったり見送りの礼を取ってくれた】

最後には、

【私たちは日本や日本人のことを決して卑下する必要はありません。皆さんは、世界一長い歴史とすばらしい伝統を持つこの国に誇りを持ち、世界や世界の人々に貢献できるよう、一生懸命勉強に励んで欲しいと思います】

と結んでいます。私は生徒達に感銘を与える見事な記事だと思います。

報道によると、この記事を批判する電話が1件寄せられたことを受け、市教育委員会が校長に注意し、校長は「生徒や職員に迷惑を掛けたくない」と、この記事を削除してしまっただけです。この記事のどこが悪いのでしょうか。市教委にはその後「偏向教育だ」との匿名の手紙が1通届いたが、記事を評価する電話やファクスが多数寄せられた。ともありました。少し安堵しましたが、**匿名(とくめい)での批判は卑怯(ひきょう)**ではないでしょうか。



校長先生、これからも負けずに頑張ってください。

私たちの周辺でも、たった一人がうるさく言うと、その声に負けてしまうのが山ほどあります。最近「保育園の子供の声がうるさい。なんとかしろ」とか、小学校の運動会の放送が耳障りだ、という通報があり、聞こえづらいほどに小さな音量にした、という話をよく聞きます。『御託を並べる』輩のなんと多いことか。

気が滅入ってきましたので、別の話をします。

12月議会と今議会に同様の案件がありました。ほとんどの方には関係ない話なのですが、参考になればと思い書くことにしました。

Aさんは市の税金を滞納して、何回も督促を受けましたが、納められません。このAさんは、俗にいうサラ金会社Bにも長年の借金がありました。今、毎日のようにテレビでは「過払い利息を取り戻せます」というコマーシャルがあります。計算すると、このAさんにはB社に**過払い利息の返還請求権**がありました。

そこで、船橋市債権管理課(C)がAさんに代わってB社に請求したのです。B社は拒否しました。そこでCはB社に対して民事訴訟を起こしました。最終的にはB社とCは**和解**となり、CはAさんに対する滞納金全額をB社から**回収**できました。ここまでなら経過報告という話になるのですが、さらに続きがあります。

なんとこのことで、B社に対するAさんの債務も全て無くなり、Aさんからすると、船橋市の滞納とサラ金会社への負債の両方が、しかも第三者である船橋市によって一挙に無くなったのでした。『一石二鳥』となった次第です。

Aさんのような事案が2件も議会に出てきたのです。全てがこのように旨(うまい)くいくとは限りませんが、多重債務で悩み、市への税金も滞納して苦しんでいる人には**朗報**ではないでしょうか。

